

事業区分
その他サービス

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	結核重点対象者対策				所管	健康部 保健予防課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始] 昭和 5 0 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし			
	事業対象	一般区民、区内日本語学校生、住所不定者					
	事業目的	重点対象者に対し結核検診や結核の知識の普及を図り、患者の早期発見、早期治療、及び感染予防を図る。					
	事業内容	検診を受ける機会の少ない日本語学校生と住所不定者の結核対策として出張による検診を行う。 また教職員、保育士などの教育関係者、医療関係者、社会福祉施設職員等に講演会を開催し、結核の知識を普及させ検診の励行と感染予防を図る。					
	委託の有無	一部委託	委託内容	検診車配車及びエックス線読影を含む検診			
	補助金の有無	国					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	検診実施回数	回	14	13	12	13
		講演会実施回数	回	3	—	2	3
	成果指標	台東区結核罹患率(人口10万人あたり)	—	44	53	52	35
		検診受診者数	人	1,700	1053	1131	1639
	決算額	(単位：千円)			2,130	2,320	2,507
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			3,749	8,522	8,671
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,130	2,242	2,391
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	78	117
		総経費			5,879	10,842	11,179
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,130	2,320	2,508	
	一般財源(区負担額)			3,749	8,522	8,671	
前回評価から改善した事項	検診事業は実施場所を対象者の多くいるような場所で行った。講演会の対象者として新たに教育関係者を加え、知識の普及に努めた。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	類似事業を行う民間団体はない。患者の早期発見には検診事業は必要である。日本語学校生徒は増加傾向にある。				
	効率性	3	検診により精密検査の必要な方を発見することができている。				
	手段の適切性	4	レントゲン車での検査委託により、短時間で大勢の方を対象にレントゲン検査を行う事ができる。集団生活を行う施設に対し、定期健診と早期受診の大切さを伝えることが出来た。				
	目的達成度	4	検診は予定通り行う事ができ、前年を上回る対象者に対して検診を実施することができた。				
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		
結核は感染症であり、入院治療となった場合の対象者の生活への影響と、区民への感染拡大防止のためには早期発見が重要である。対象者に合わせた検診や受診行動に結びつく知識の普及は継続すべきと考える。					維持	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	